

2024年3月期（第40期） 第3四半期 決算補足資料



2024年1月31日
テクマトリックス株式会社（コード：3762）



1. 第3四半期 業績報告



- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも**過去最高**を記録。

(百万円)

	FY2022 3Q	FY2023 3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	32,285	38,008	+5,723	+17.7%
営業利益	2,828	3,824	+995	+35.2%
(営業利益率)	(8.8%)	(10.1%)		(+1.3P)
※参考[特殊要因考慮後] (実質的な営業利益実績)	—	3,922	+1,093	+38.7%
		(10.3%)		(+1.6P)
税引前利益	2,807	3,812	+1,004	+35.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,577	2,344	+767	+48.6%

※特殊要因：連結子会社PSP株式会社（医療システム部門）の処遇制度の統一による有給休暇やリフレッシュ休暇の費用計上等（1Q: 98百万円）



2024年3月期 3Q累計 連結業績（セグメント別）

（百万円）

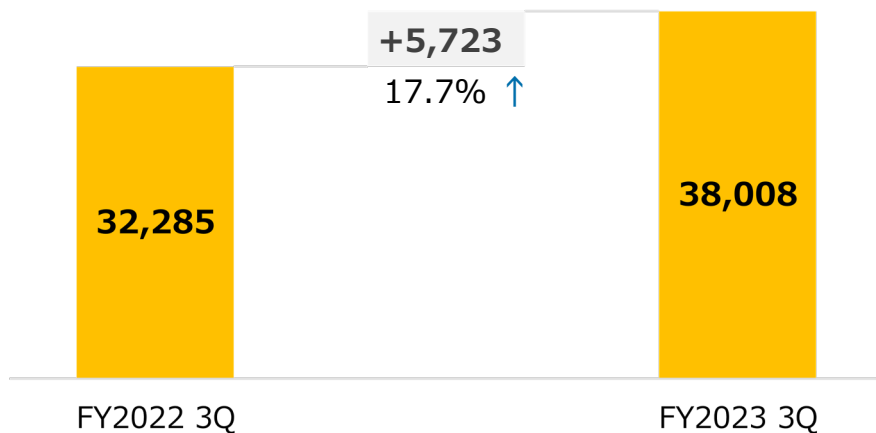
	FY2022 3Q			FY2023 3Q			前年同期比	
	実績	構成比	利益率	実績	構成比	利益率	増減額	増減率
売上収益	32,285	100.0%		38,008	100.0%		+5,723	+17.7%
情報基盤	21,017	65.1%		25,326	66.6%		+4,309	+20.5%
アプリ・サ	5,151	16.0%		5,872	15.4%		+720	+14.0%
医療システム	6,116	18.9%		6,810	17.9%		+693	+11.3%
営業利益	2,828	100.0%	8.8%	3,824	100.0%	10.1%	+995	+35.2%
(下段：特殊要因考慮後)				(※2) 3,922		10.3%	+1,093	+38.7%
情報基盤	1,955	69.1%	9.3%	2,781	72.7%	11.0%	+825	+42.2%
(※1) 1,928		68.2%	9.2%		70.9%		+852	+44.2%
アプリ・サ	△ 165	△5.9%	△3.2%	147	3.9%	2.5%	+313	—%
(※1) △ 138		△4.9%	△2.7%		3.8%		+286	—%
医療システム	1,038	36.7%	17.0%	895	23.4%	13.1%	△143	△13.8%
				(※2) 993	25.3%	14.6%	△45	△4.4%

- ※1 FY2023 1Qより、情報基盤事業とアプリ・サ事業のセグメント間で家賃・水道光熱費の費用負担の配賦方法を変更。これに伴い、FY2022 1Qから情報基盤事業とアプリ・サ事業の営業利益実績を変更後の配賦方法により算出。
- ※2 連結子会社PSP株式会社における処遇制度の統一による特殊費用（1Q: 98百万円）を除いた実力値を記載。
- ※3 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリ・サ事業部門より分離独立。

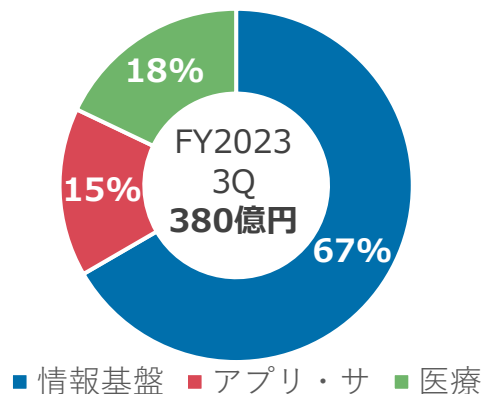


売上収益

(百万円)

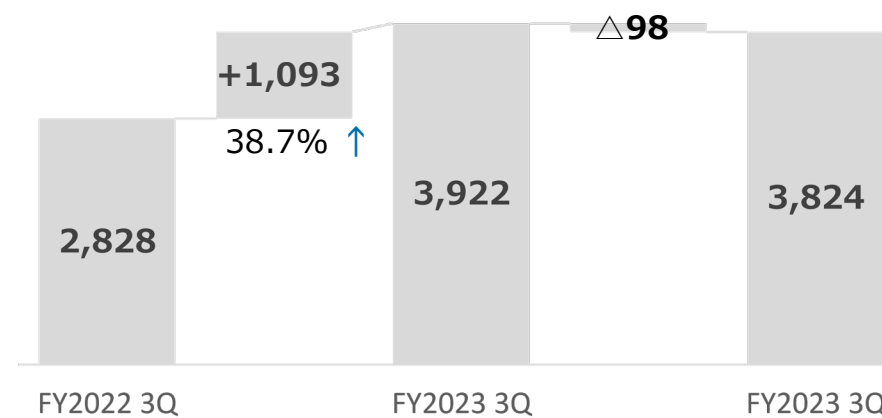


売上収益構成比



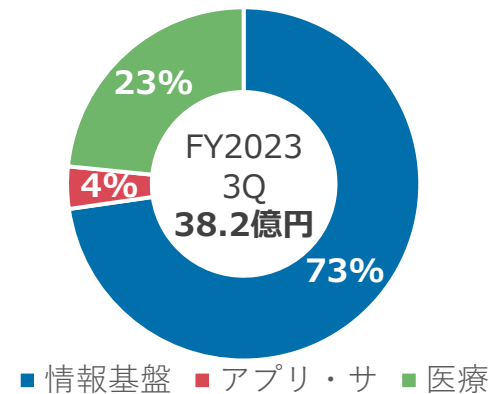
営業利益

(百万円)



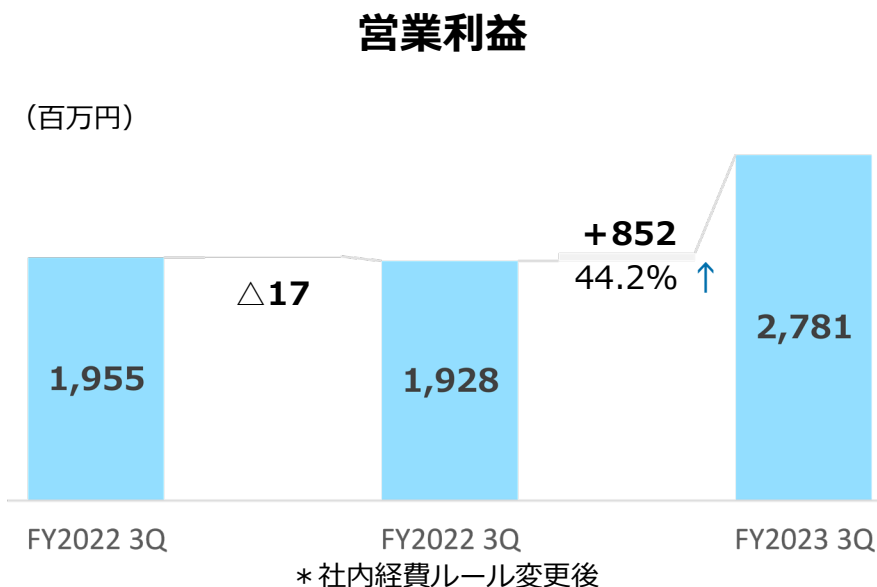
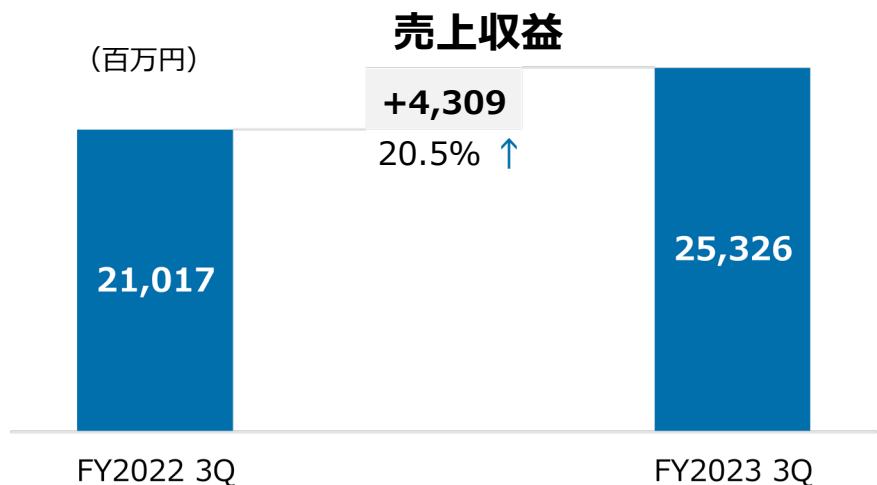
* 処遇制度統一に係る費用計上前

営業利益構成比



※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

Copyright (c) 2024 TechMatrix Corporation. All rights reserved.



売上収益・営業利益は**過去最高**を記録。

売上収益

- (+) サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の引合いが引き続き好調
- (-) サブスクリプション化の進展により繰延傾向

営業利益

- (+) 採算性を意識した営業活動の徹底
- (+) 社内経費の配賦ルールの変更による前年実績調整（17百万円）
- (-) 円安による影響
- (-) 新規事業としてのクラウドネイティブ活用ソリューションへの投資
- (-) 人件費・販管費の増加
- (-) 社内経費の配賦ルールの変更による影響



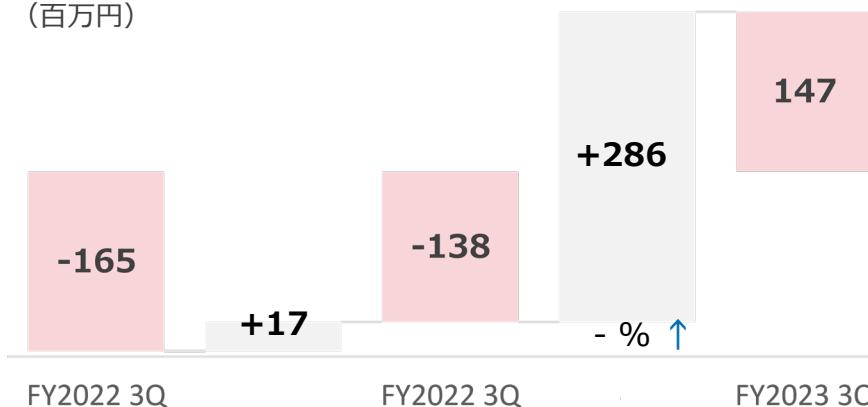
売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



* 社内経費ルール変更後

売上収益・営業利益は前年比で増加。

売上収益

- (+) 企業向けシステムや組込ソフトウェアの品質を担保するテストツールの需要が好調 (SE)
- (+) サブスクリプション化の進展によりストックが積み上がり、売上伸長。(CRM、SE)
- (+) 工事進行基準による積み上がりが寄与 (BS)
- (+) 「ツムギノ (tsumugino)」の導入校数が拡大し売上伸長。(教育)

営業利益

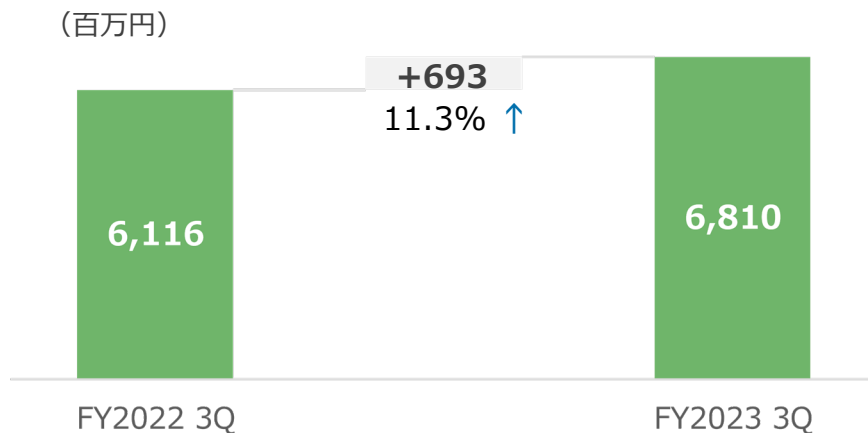
- (+) 社内経費の配賦ルールの変更による影響
- (-) 新規事業として投資を継続・前倒し (教育)
- (-) 社内経費の配賦ルールの変更による前年実績調整 (17百万円)

※事業部名略称 ソフトウェア品質保証：SE、ビジネスソリューション：BS

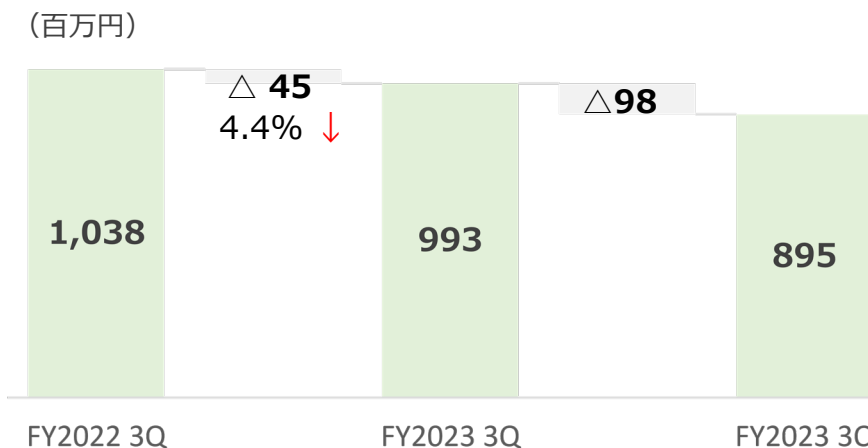
※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



売上収益



営業利益



* 処遇制度統一に係る費用計上

売上収益は前年比で増加・営業利益は前年比で減少。

売上収益

- (+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調。
- (+) 事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。
クラウドシフトは徐々に進行。

営業利益

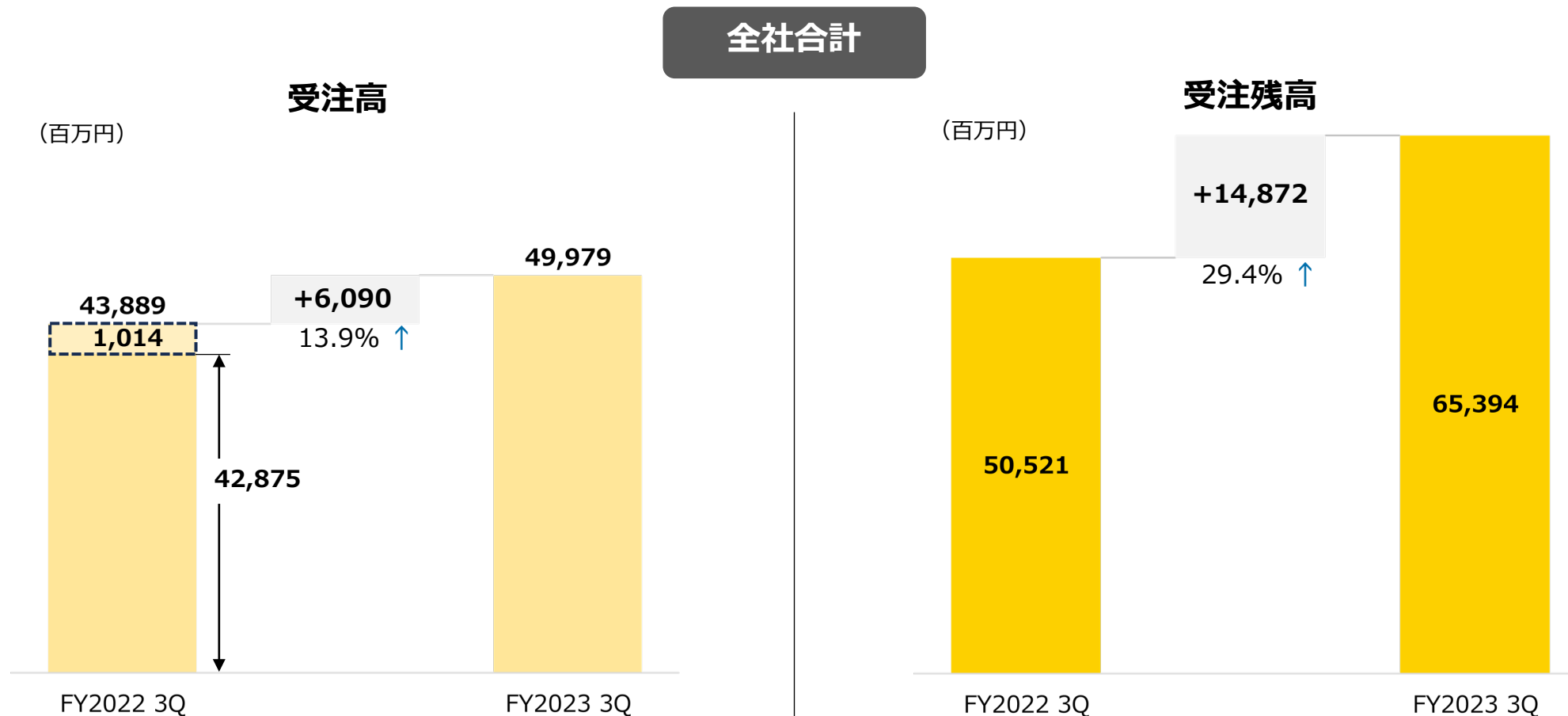
- (+) 採算性の高い案件を獲得。
- (-) FY2022の夏季賞与引当不足をFY2021に計上したことにより
FY2022の営業利益が引き上げられたことによる反動減
- (-) 処遇制度統一に係る費用等の計上が営業利益に影響 (1Q:98百万円)
- (-) 増員による販管費増加
- (-) ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の償却

※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



2024年3月期 3Q累計 受注高と受注残高（連結）

- 連結受注高は、前年比で順調に増加。
- 連結受注残高は、情報基盤事業を中心に前年比で順調に増加。
- 合併会社のシステム統合前の集計不備により、前期受注実績における計上漏れが発覚（1,014百万円）。



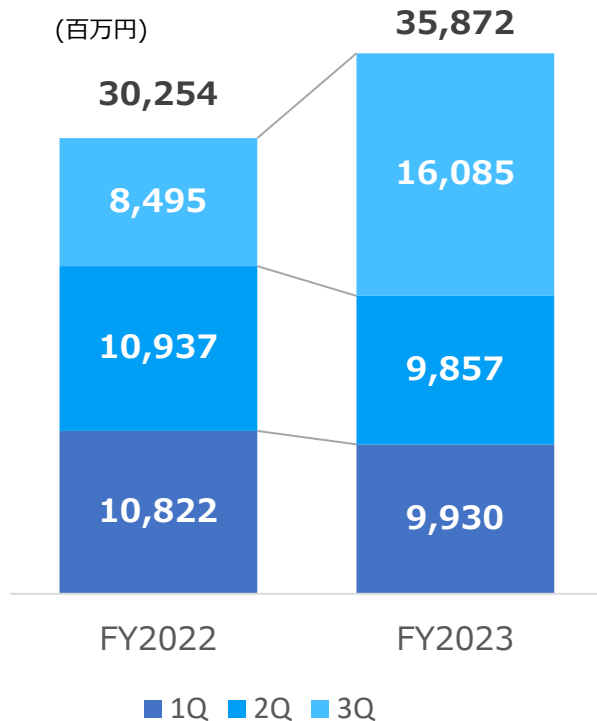


2023年度 セグメント別 受注高（連結）

- 情報基盤事業：クラウド型のセキュリティ対策製品の大型案件（新規・更新）により伸長
- アプリケーション・サービス事業：CRM, SE分野を中心に好調
- 医療システム事業：前期比で微減。合併会社のシステム統合前の集計不備により、前期受注実績における計上漏れが発覚（1,014百万円）。

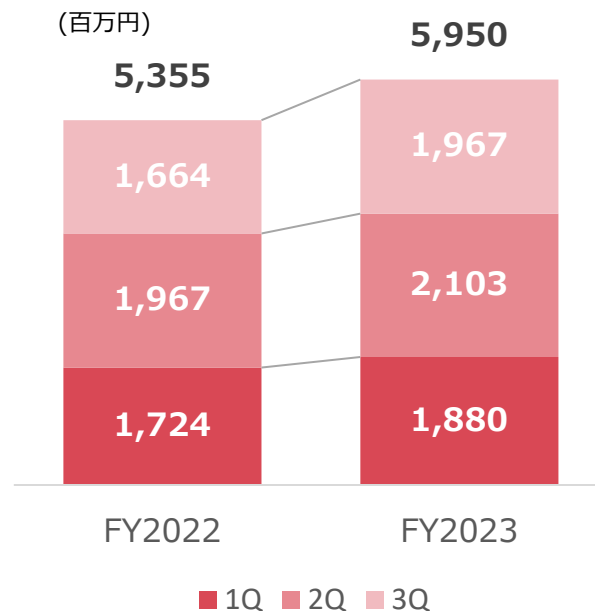
情報基盤事業

YoY 18.6% ↑



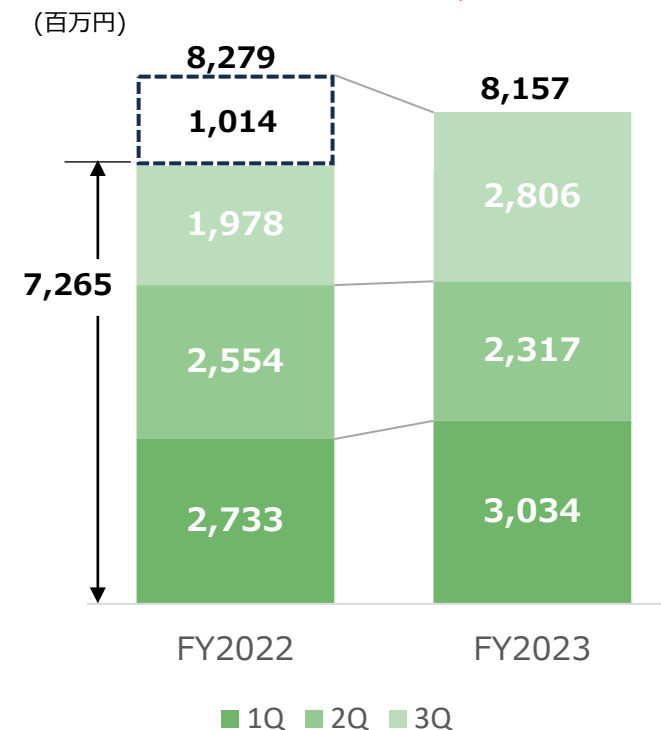
アプリケーション・サービス事業

YoY 11.1% ↑



医療システム事業

YoY 1.5% ↓

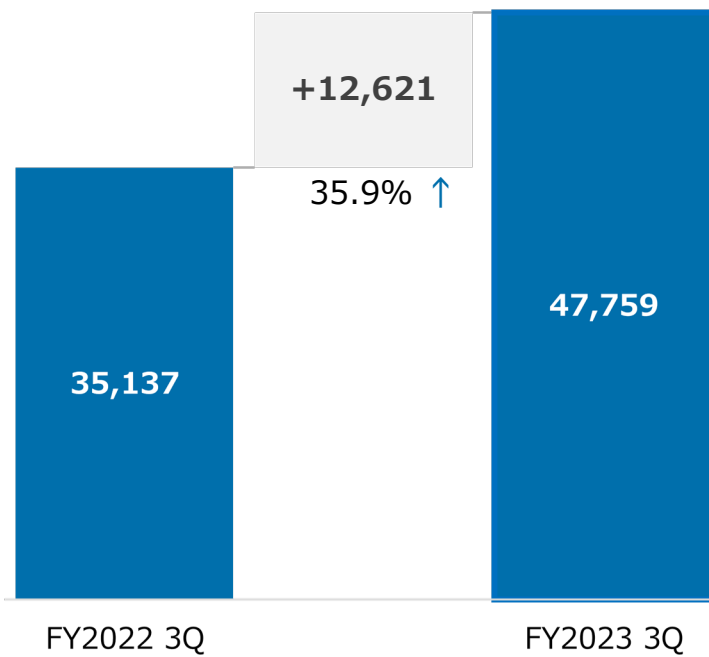


※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

- ・サブスクリプション化（ストックビジネス強化）により、増加傾向。

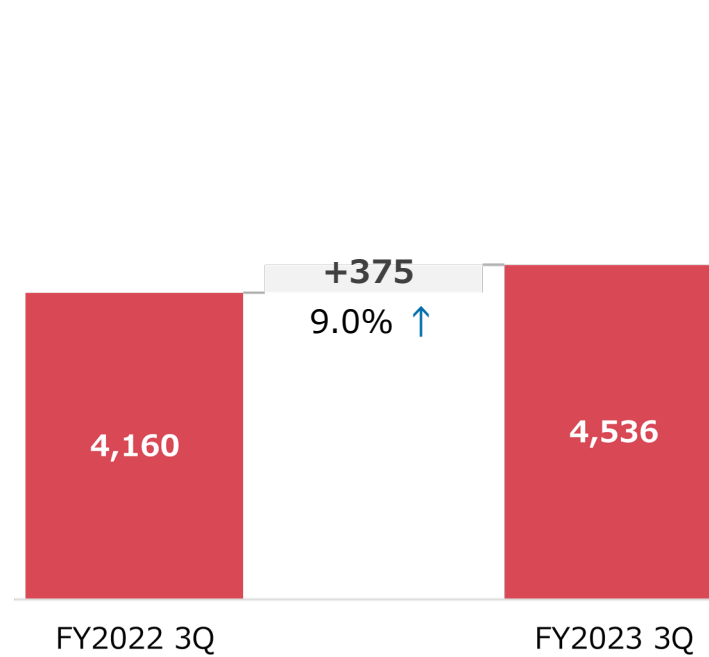
情報基盤事業

(百万円)



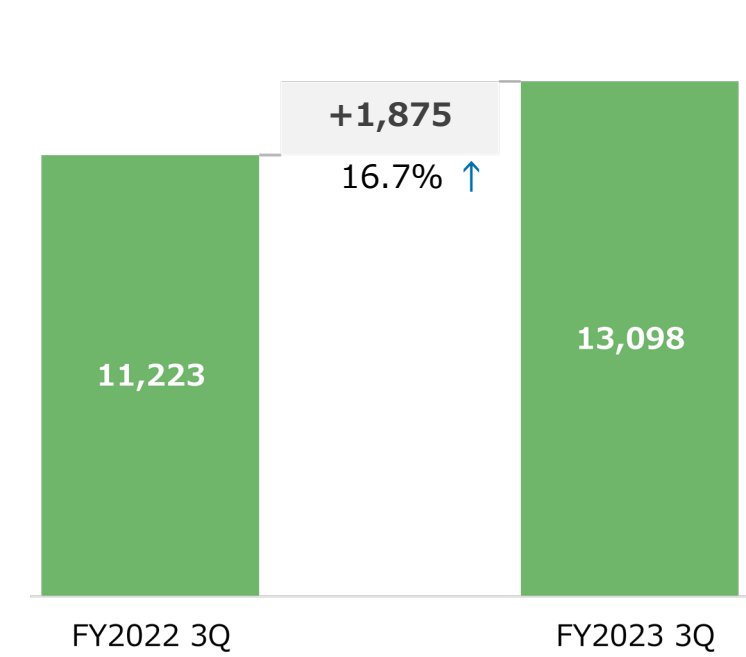
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



医療システム事業

(百万円)

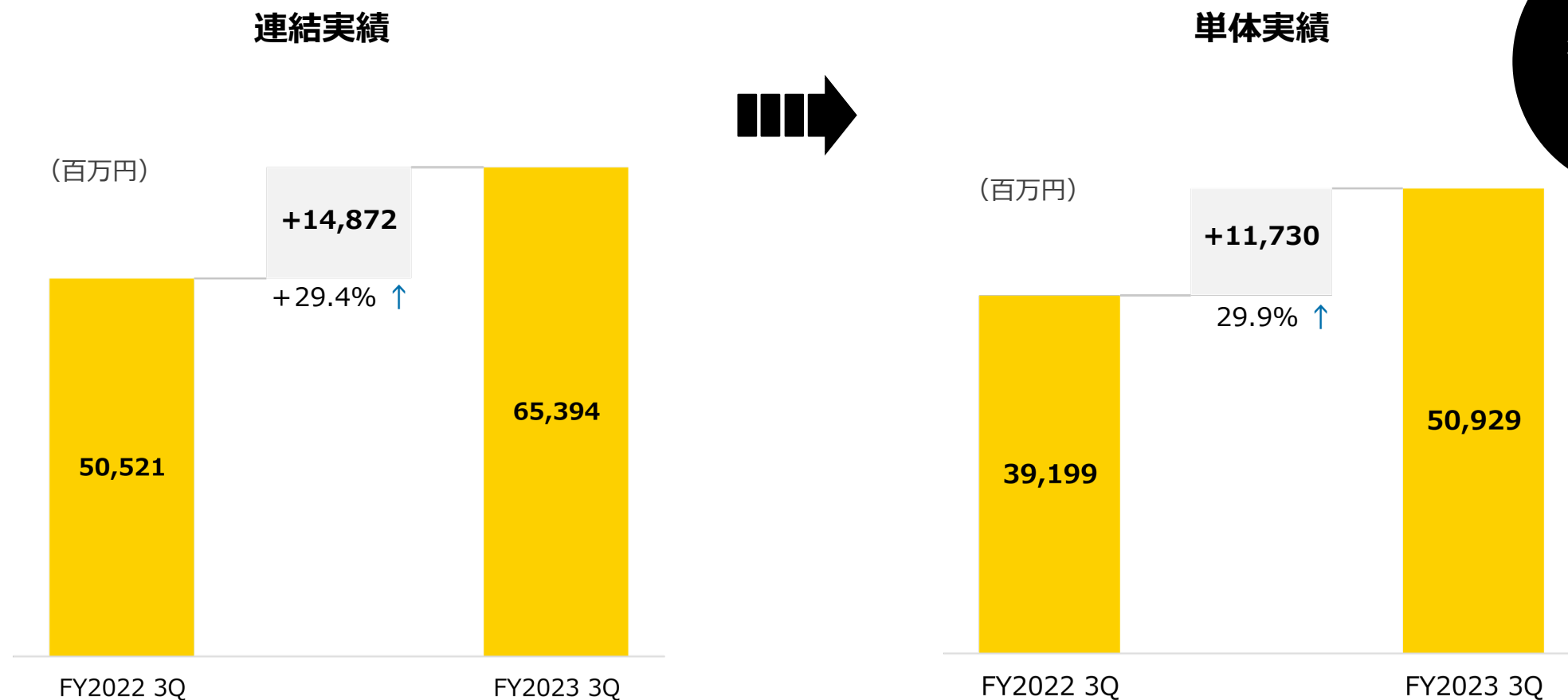


※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。 10



2024年3月期 3Q累計 受注残高の状況（単体）

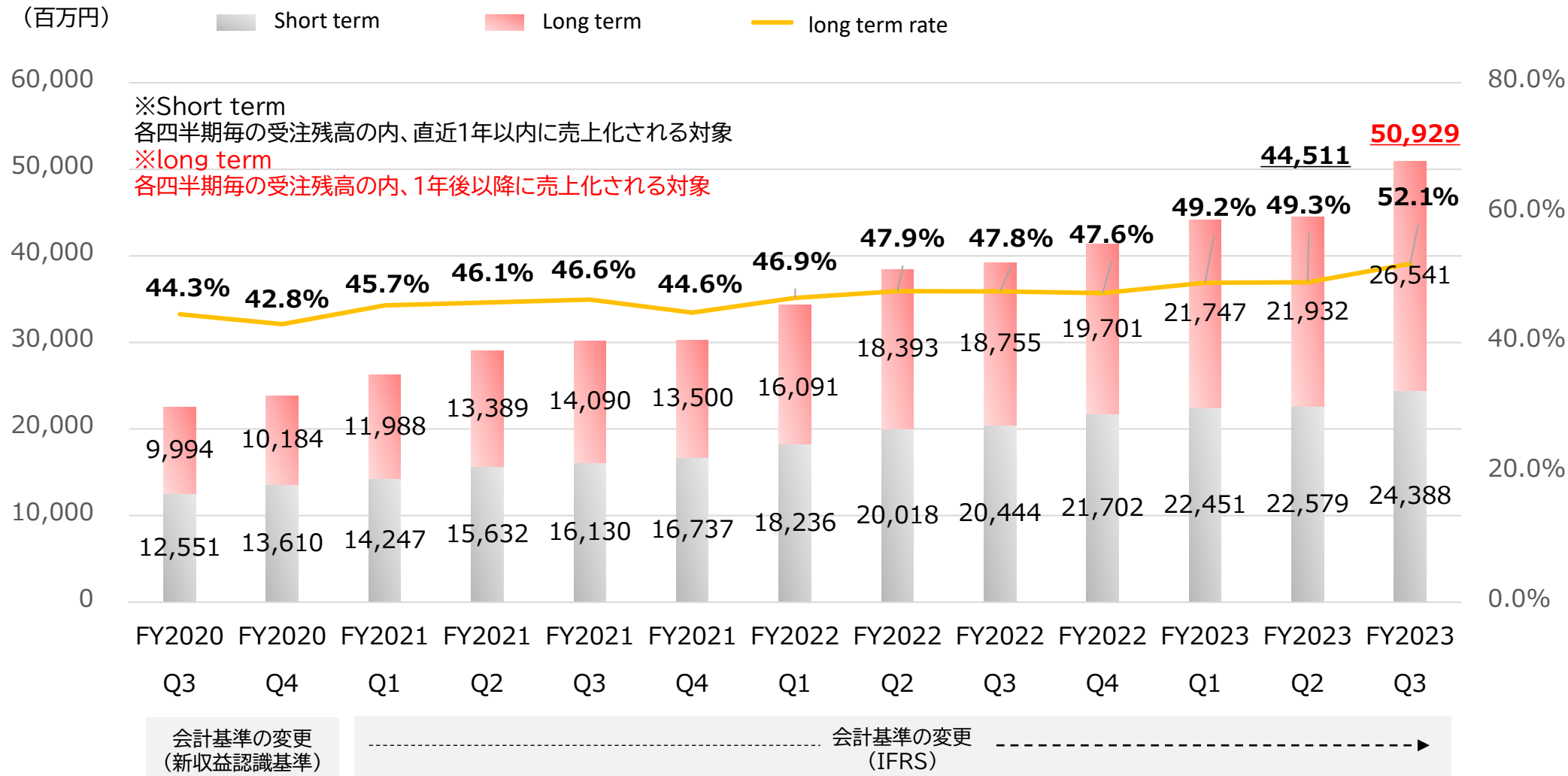
- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。





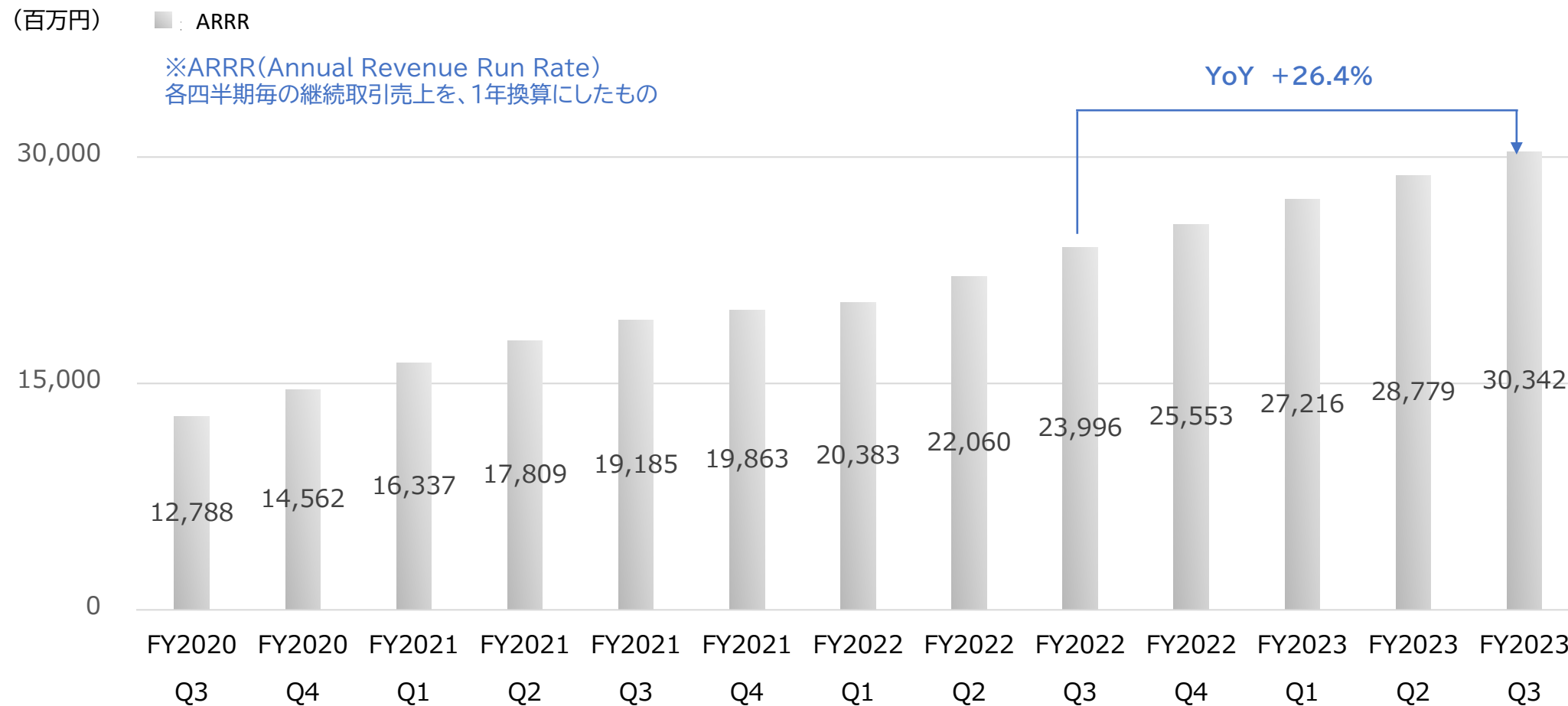
2024年3月期 第3四半期時点 受注残高（単体全体）

- テクマトリックス単体での受注残高の内訳は以下のとおりです。





- テクマトリックス単体でのARRRの内訳は以下のとおりです。





2. 2024年3月期 連結業績予想

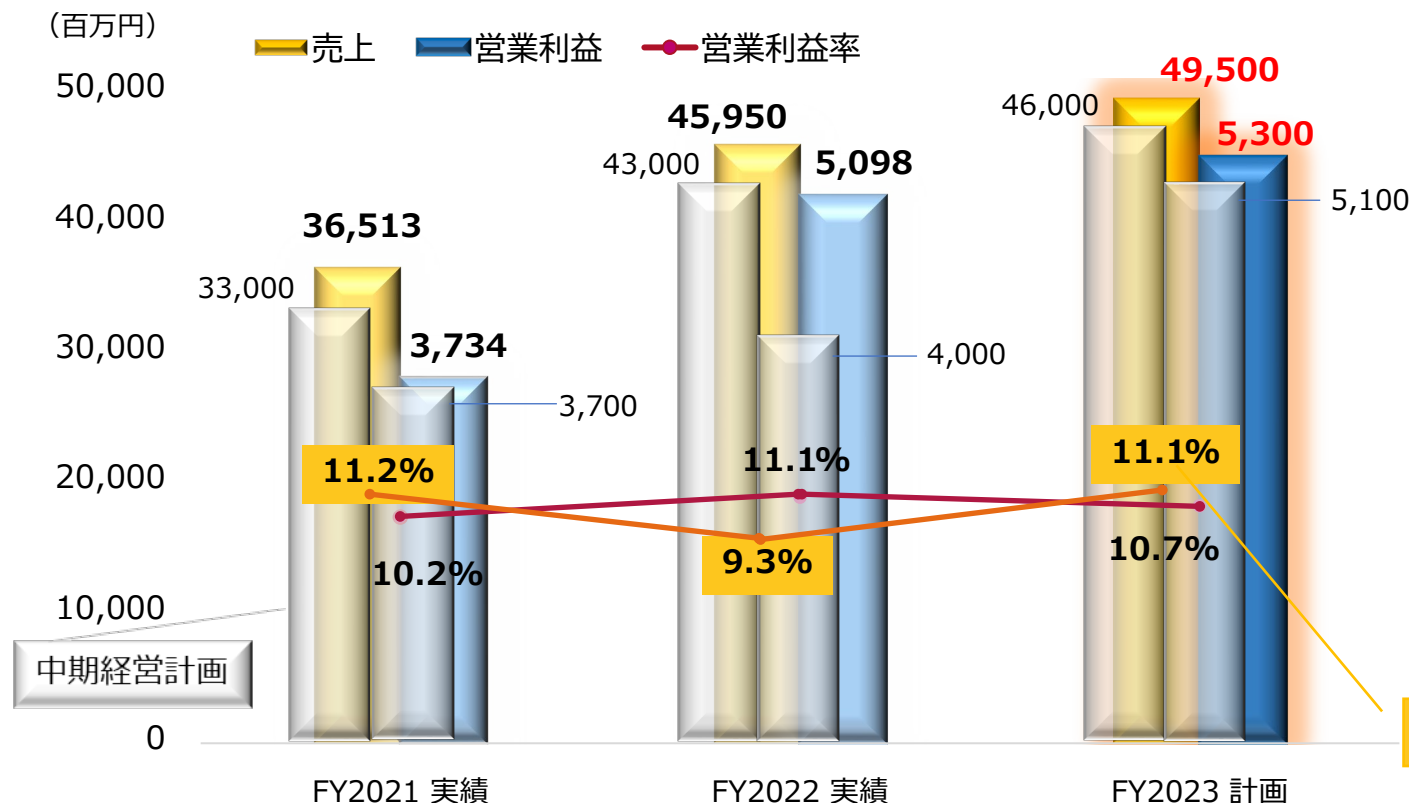


前期までの受注残高の積み上がりにより、連結業績は増収増益の見通し。

対中期経営計画の3年目の計画値も上回る見通し。

【40期における主な特殊要因】

- ①PSP株式会社の退職給付制度改定及びリフレッシュ休暇制度の適用等（人事制度の統一）
- ②新規事業への継続的な投資（EdTech事業・ネットワークセキュリティ事業「NEO」）

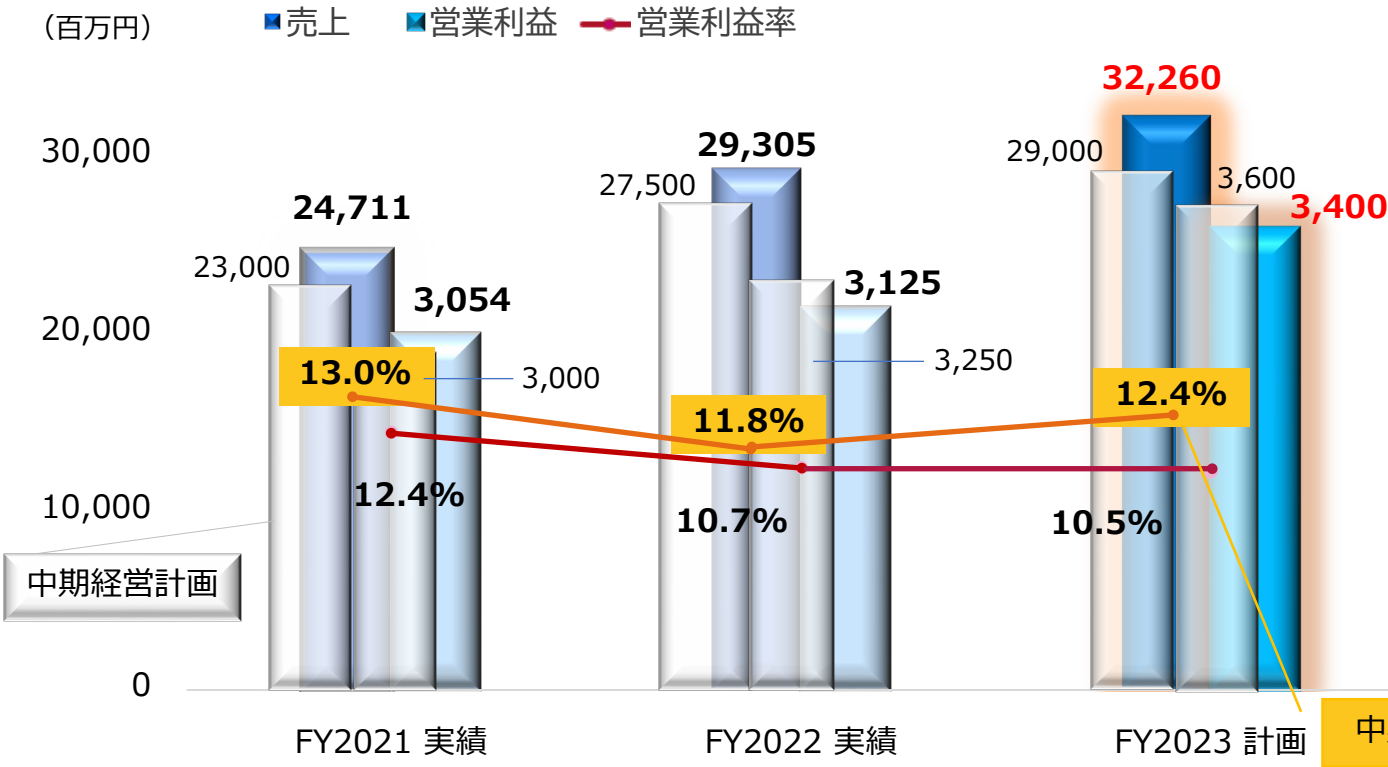


単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+3,550	107.7%
	中計比	+3,500	107.6%
営業利益	前期比	+202	103.9%
	中計比	+200	103.9%

中期経営計画



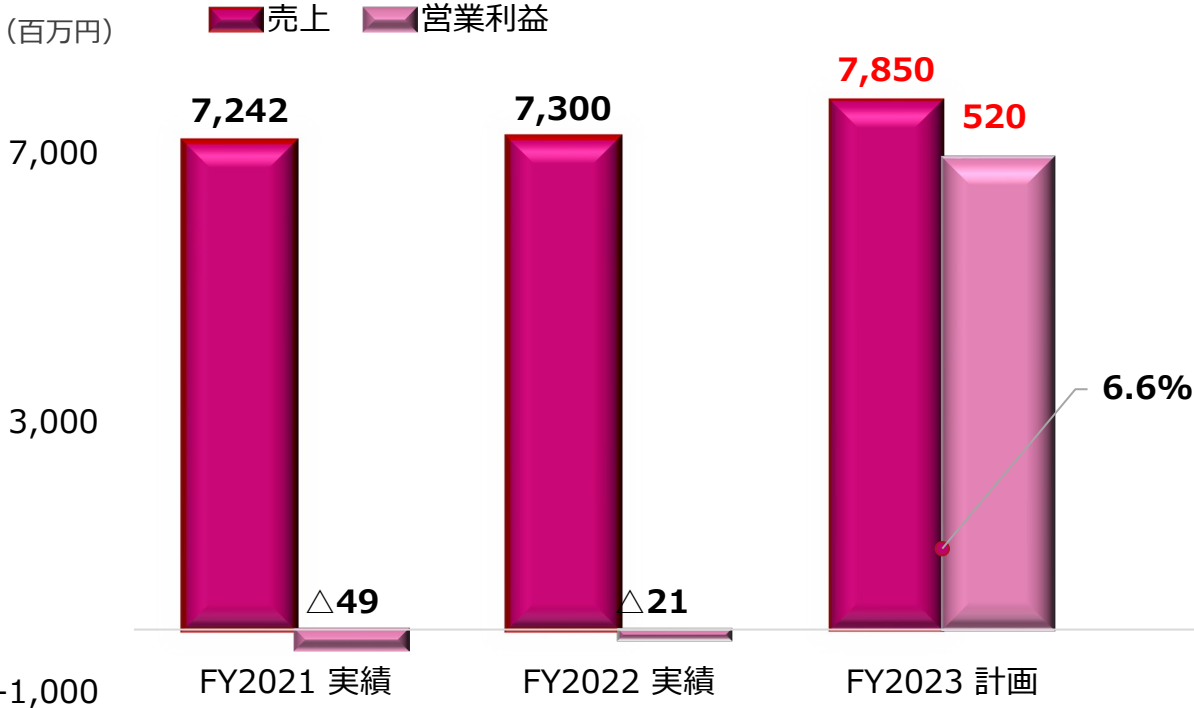
- ◆売上収益(+)：サイバーセキュリティ対策製品・サービスに対する需要は継続
- ◆営業利益(+): 前期に発生した移転関連の特殊費用の消滅
- (-)：①為替の影響・仕入原価の増加傾向が残存
- ②新規事業への継続投資「NEO」
- ③社内経費の配賦ルールの変更



単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+ 2,955	110.1%
	中計比	+ 3,260	111.2%
営業利益	前期比	+ 275	108.8%
	中計比	△ 200	94.4%



- ◆売上収益(+): サブスクリプション実績の積みあがり (CRM、ソフトウェア品質保証、EdTech分野)
- ◆営業利益(+): ①前期に発生した移転関連の特殊費用の消滅
②EdTech事業の赤字の縮小 (前期に一部前倒しで投資を実施)
③ビジネスソリューション分野における赤字案件の収束
④社内経費の配賦ルールの変更

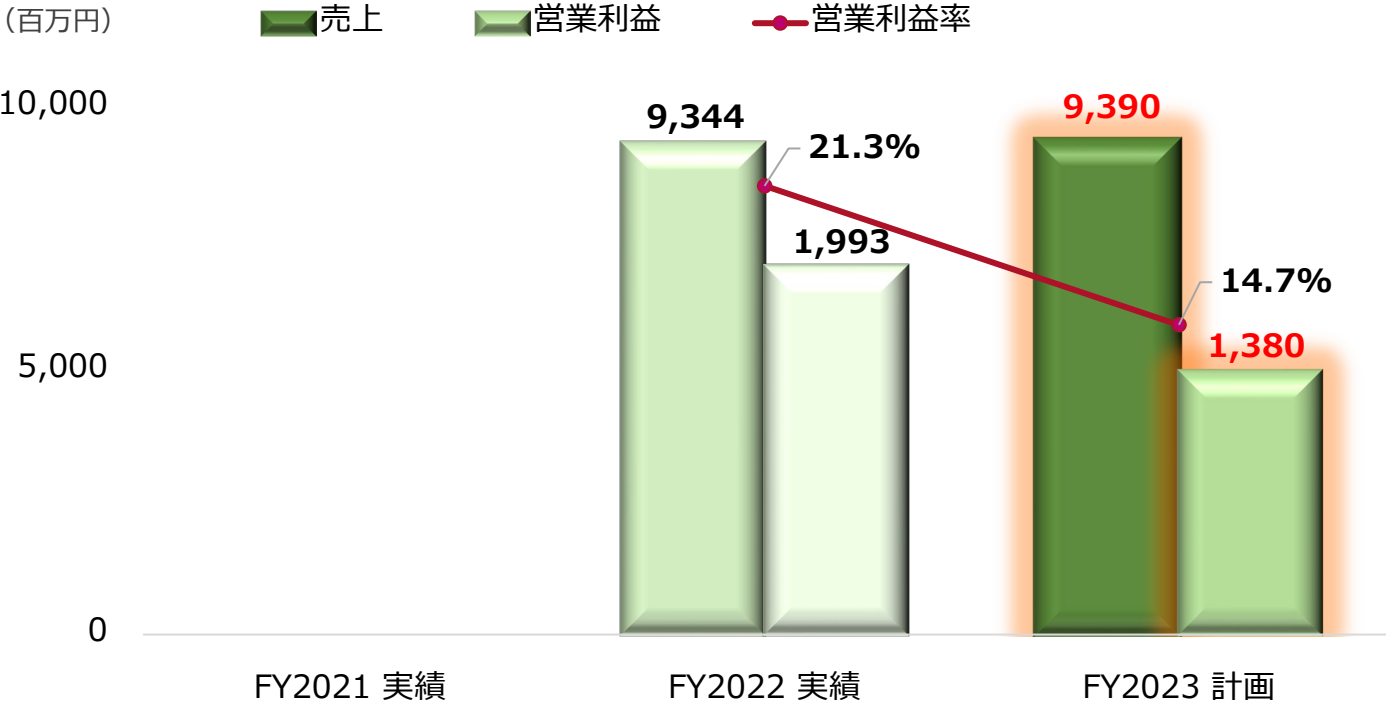


単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+ 550	107.5%
	中計比	-	-
営業利益	前期比	+ 541	-
	中計比	-	-

* 医療システム事業部門を除く。



- ◆売上収益 (+) : ①PACS事業の継続的な事業成長
②キヤノンメディカルシステムズへのOEM供給の本格化
- ◆営業利益 (-) : ①計画的なクラウドシフトへの移行
②ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の償却 (前期は資産化[繰延]メリットが発生)
③人件費等の増加 (処遇制度の統一による影響、増員計画による影響)

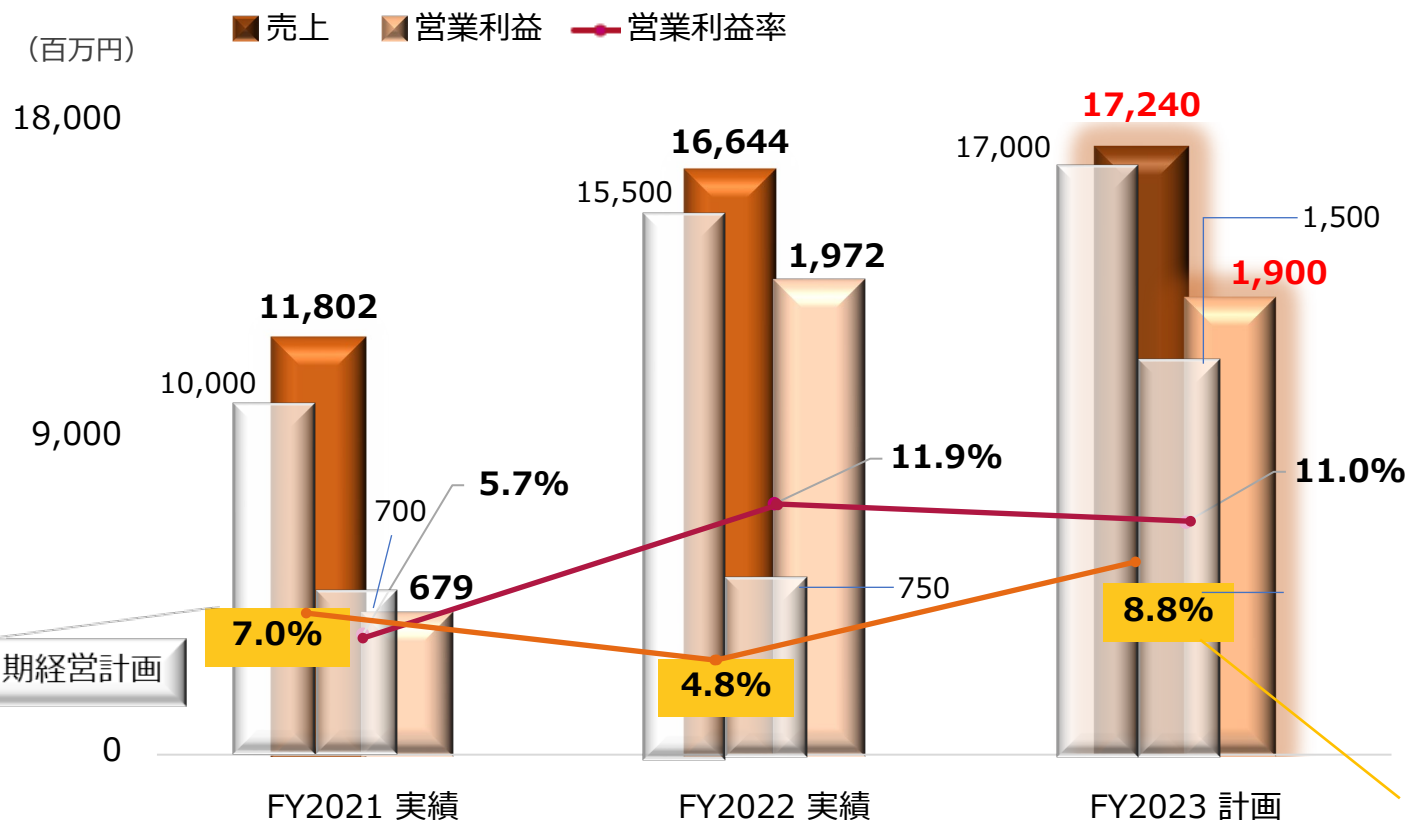


単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+ 46	100.5%
	中計比	-	-
営業利益	前期比	△ 613	69.2%
	中計比	-	-

* 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。 18



【ご参考】連結業績予想（アプリケーション・サービス事業+医療システム事業）



単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+ 596	103.6%
	中計比	+ 240	101.4%
営業利益	前期比	△ 72	96.4%
	中計比	+ 400	126.7%

中期経営計画



＜本資料の取り扱いについて＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

＜お問合せ先＞

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp